

報告事項1：平成29年度事業報告の件

平成29年度事業報告

要 旨

事業年度活動テーマ 『 Pay it Forward 』 ～ ありがとうの気持ちを伝えていこう ～

平成29年度の事業活動テーマには、近年、多々発生する大災害に対して、人への思いやり、助け合い、交わりなどに想いを込め続けたい。私たち会員一人ひとりの貴重な経験から大切なものは何かを常に踏まえ、生命保険の相互扶助の精神のもとに、私たちの仕事が広くお客様のためにあり、そして、JAIFAの活動を通じて、広く国民の皆様に公益事業を反映させていくように心がけているところへとつなげてきた。そして、日々活動できることに常に感謝「ありがとう」の気持ちを持ち、誰かにしてもらったことは、次の誰かに返していこうという「ありがとう」の連鎖が本年度の事業テーマとともに会員を突き動かし活動してきた。

一方で、真の公益法人を目指すべく6事業年度が過ぎるが、東日本大震災から7年、熊本・大分地震から2年が過ぎた被災地の現状は、被災者の方々にとって復興・復旧はいまだ大きく変わっておらず、我々は「いま、私たちができること」の心をこれからも持ち続け、我々の願いや想いが、少しでも伝えられるよう引き続き思いを込めて取り組んでいきたい。これには、JAIFA会員の総力を挙げた原動力の一つとなっている「ハートフルファンデーション」を役立たせていきたい。年会費に会員一人年間500円の募金を頂くことを構築させ、会員数が38,500名まで組織が拡大したことにより年間約2,000万円の基礎原資が積立てられるようになった。万一の大災害時に「JAIFAらしい支援」が会員全員の総力をもって即時起動できる体制は、一人ひとりの力によってさらに充実されてきたことは間違いない。

また、会員が増加していることが、全国津々浦々に拡大しつつある会員の力、JAIFAの組織力が、公益社団法人としてふさわしい社会貢献活動の強化を図っていくこと、生命保険の大切さを伝えることなどを使命としているうえで、拡大しつつある組織力に活かされている。他団体等に類を見ない活動をこれからも展開していく。

さらに、不特定多数(一般の方)へ向けた事業を行う事で公益社団法人が認定されていることから、公益事業の実施を順守していくことの誓いととも、公益事業のあり方や今後についてブロック長及び全国各地で開催されたブロック会議等を通じて周知徹底するとともに、掲げている「3つの施策」を必ず達成することを確認していく。

1. 公益事業費は、70%以上となるように運営すること(70%ルール)
2. セミナーは、企画段階で決定申請書を提出し、公益事業判定を受けること(企画決定申請ルール)
3. 自己負担費用項目とJAIFA負担費用項目の区分を厳守すること。(費用区分ルール)

次年度のみならず、引き続き、公益の原点に立ち返りつつ、事業に臨むことを確認していく方針である。

このように、生命保険の使命と築いてきた伝統のもとに、平成29年度も公益社団法人として下記事業を中心として行ってきたことを報告する。

■「公益社団法人」としての役割と使命（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- (1) 消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- (2) 地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- (3) 消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

年次統一セミナー（通称年次大会）は、年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るという、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している（2017年度開催「神戸大会」：全体で4,500名参加）。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、来場者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形での社会貢献活動（リレー・フォー・ライフ、スペシャルオリンピックス日本など）ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

JAIFAは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決するこ

と。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

①公益法人団体が実施する行事への参加（人的支援）

公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 全国各地の主催行事へ参加
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 全国各地の主催行事へ参加

②J A I F A年次統一セミナーでの公益団体紹介広報ブースの設置（無料出展にて推奨）

公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン関西支部（難病の子どもたちの夢をかなえる活動）

NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス（小児がん専門治療施設）

兵庫県電動車椅子サッカー協会（兵庫県内での電動車椅子サッカーの競技力向上や競技を普及させる活動）

③広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ（ファイナンシャルプラン）」7年継続
公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 16年継続

■突発的大災害への支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

年会費に会員一人500円の基金が加えられたことで年間約1,900万円規模の原資が積み立てられ、本年は3事業年度目となった。万一の大災害時に「J A I F Aらしい支援」が会員の総力をもって起動できる体制は、一人ひとりの力でさらに充実されてきたことは間違いない。

これまでの活動では、ハートフルファンデーションがどのように活かされていくのか、活動の礎にもなるよう「年度ごとの期限を定めた支援」として、毎年500万円相当の寄贈を5年間続けてきた。この実績を踏まえ、更にハートフルファンデーションを大きく飛躍させたいとの想いから、「未来ある子どもたち」に焦点をあて、難病と闘う子どもたち及びその家族を継続的に支援することを決定し、子どもたちが安心して治療に専念できるように5年～10年継続的なJ A I F Aらしい支援をしていきたいと考え、今年度は全国展開している下記3団体へ合計500万円の支援をさせていただいた。

平成29年度支援先

①「NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会」（100万円）

全国の病院を訪問して闘病中の子どもたちを笑顔にする活動をしている団体で、全国に約100名のクラウン（道化師）が活動しており、小児病棟に入院している子どもたちを、毎月約80病院に定期訪問している。病院への定期訪問の他、被災地での活動への支援をさせていただいた。

②「公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス」（200万円）

病気と闘う子どもが、家から離れた病院に入院している場合、家族の負担は肉体的にも精神的にも経済的にも大きなものとなる。このような子どもの治療に付き添う家族の滞在施設が全国に12施設あるため、施設運営へ支援させていただいた。

③「公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン」（200万円）

命に関わる難病の子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を与え活動をしている団体である。難病の子どもたちの夢を1つでも多く叶えることができるよう支援させていただいた。

一方、「突発的災害への支援活動」では、万一の災害発生時に、ハートフルファンデーション委員会リードのもとに、全国の地方協会に1名ずつ就任いただいたハートフル・コーディネーター及び地方協会長との情報連携体制が整い、被災地が必要とされている物資支援や要望に対して、これまで以上にスピーディな対応が取れる全国ネットワーク体制は昨年度確立させた。

昨年7月九州北部で特別警戒豪雨により、特に福岡県と大分県に甚大な災害が起こった際は、この体制が活かされ直ちに被災地のハートフル・コーディネーターや地方協会長が被災地の市役所等と連携して、被災地で緊急に必要なとされている飲料水、作業用手袋、熱中症対策グッズ等を購入し支援することができたため、現地でも大変喜ばれた。

一昨年9月に北海道東部、岩手県に甚大な災害をもたらした台風10号への支援で、帯広協会、岩手県協会、旭川協会を通じて飲料水や石油ストーブ、歯ブラシなどの日用品を支援させていただいた経緯がある。被害から1年以上経過しても、多くの方が仮設住宅で不便な生活を強いられている状況から、岩泉町社会福祉協議会より岩手県協会へ、「冬に向けて使い捨てカイロの寄贈と、被災された方の話を外向いて聞いてあげて欲しい」との追加要望があり支援をさせていただくことも出来た。

発生してほしくはないが突発的災害時に公的機関の支援とは異なる視点で、被災地が必要とされている物資支援や要望に対して、よりスピーディに対応できるよう体制を更に強化させていく方針である。

神戸大会での「LEDバッジを活用した支援」は、『「熊本大分地震」及び「東日本大震災」の各被災地への支援』を目的とし、約175万円の収益となった。「熊本大分地震」への支援は、NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会が行っている熊本県「テントサーカス」を4施設訪問いただくために約24万円支援した。「東日本大震災」への支援は、神戸大会に出演した「パッション」の活動に協力し、気仙沼の海辺に植樹を行い、津波を防ぐ「防潮」に取り組まれている『神戸の森』へ150万円を支援した。

最後に、米国NAIFAを通じ9月に発生した大型ハリケーンの被災に対して3,000米ドルを支援した。過去、東日本大震災時にはNAIFAからの支援を頂いた経緯もある。

ハートフルファンデーション 募金経過報告書

2018年3月31日

収入		支出	
①前年度末繰越金	30,244,674	①突発的災害支援	704,301
②年会費からの収入	19,296,000	九州豪雨への支援	598,170
平成29年度会費38,476名〔@500〕	19,238,000	大分県内へ作業用手袋や米等物資等	199,541
地方協会預り会費11名〔@500〕	5,500	福岡県内へ飲料水や高圧洗浄機等物資	398,629
平成28年度以前の会費105名〔@500〕	52,500	台風10号への支援	106,131
③寄付金等	1,740,856	岩手県内へカイロ等物資支援	
一般社団法人人生保協会〔H29年度〕	1,500,000	②東日本大震災への支援（神戸の森プロジェクト）	1,500,000
一般 10件	240,856	③熊本大分地震への支援（NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会）	241,001
④バッジ販売	30,000	④NAIFAを通じた米国ハリケーンへの支援	337,422
ファンデーションバッジ〔@10,000〕		⑤未来ある子どもたちへの継続支援【平成29年度】	5,000,000
⑤神戸年次統一セミナー募金	2,438,033	NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会	1,000,000
（一口1000円以上募金LEDバッジ）		公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス	2,000,000
		公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	2,000,000
		⑥バッジ制作費（神戸年次統一セミナー募金用LEDバッジ）	697,032
		⑦振込手数料・残高証明書発行代	2,076
合計	23,504,889	合計	8,481,832
		年度末残額	45,267,731

■社会貢献活動の充実（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

社会奉仕活動事業は、JAIF Aの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり展開している。また、JAIF A地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させている。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成7年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日10円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、22年間で4億9,998万0,824円、福祉巡回車愛のドリーム号は、430台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援にかかる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子供たちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子供たちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子供たちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく。

「かけがえのない命とその命を育てている地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、次の3点について継続的に実施中しており、平成30年度へ継続している。

①未使用のプリペイドカード（テレフォンカード等）の収集

携帯電話の普及とともに使わなくなったテレフォンカードを手元に持っている人は少なくない。これを収集し、ボランティア活動へ活かすように進めている。

②メガネの回収

メガネ使用者やコンタクトレンズに変えられた方などから、使用しなくなった「メガネ」を回収している。これは、目が悪くてもメガネを買うことのできない途上国を支援するボランティア団体に送り役立てて頂いている。

③タオルの回収

自宅や会社にある未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用して頂き喜ばれている活動である。

上記は、共に組織力を活かして成果を上げられるように、来る平成30年6月1日の函館年次統一セミナー会場への持参受付分まで活動していく。会員のみならず広く支援を呼び掛けている。

このほか、ペットボトルキャップ、書籍等の回収を行い、地球環境の保護にも配慮した事業も今後さらに拡大させる予定である。

■公益事業としての国際協力の推進（管理部門）

JAIF Aが連携する海外協会であるNAIFA（全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）との交流をはかり、生命保険に関する研究を重ねると共に、やがて、JAIF Aが諸外国をリードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる公益組織の見本となるようこれからも展開していく。

●2017年度の国際会議等の参加

9月 NAIFA年次大会 [Performance + Purpose 2018] オーランド

●今後の国際会議等の予定

2018年 9月 NAIFA年次大会 [Performance + Purpose 2018] サンアントニオ

2019年 9月 NAIFA年次大会 [Performance + Purpose 2019] オーランド

2020年10月 NAIFA年次大会 [Performance + Purpose 2020] ボストン

■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し、会員増加への対応を相互連携することは、J A I F Aの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

日本経済や生命保険業界の環境が厳しい中で、平成30年度をもって13年連続で会員増強を実現していることは、J A I F Aの公益活動普及への成果といえる。

事業年度	会員数	増加数	増加率	
平成16年	27,998名			
17年	29,019名	1,021名	3.6%	
18年	29,248名	229名	0.8%	
19年	30,538名	1,290名	4.2%	
20年	30,576名	38名	0.1%	
21年	31,598名	1,022名	3.3%	
22年	31,770名	172名	0.5%	
23年	31,812名	42名	0.1%	
24年	32,412名	600名	1.9%	
25年	33,775名	1,363名	4.2%	
26年	34,044名	269名	0.8%	
27年	34,890名	846名	2.4%	
28年	36,449名	1,559名	4.3%	
29年	38,476名	2,027名	5.3%	13年連続増加(10,478名増)

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員とし、事業に賛同して下さる個人・団体を賛助会員としている。公益社団法人への移行後、J A I F Aの活動に共鳴し、共に活動し、支援して下さる方の募集を平成25年事業年度から開始しており、J A I F A会員を通じて賛同者を募っていく。

生保業界の環境変化の中、代理店に所属する営業職員に対してもJ A I F Aの事業活動を広報し、入会促進をしている。生命保険会社に所属する会社に比し、代理店は来店窓口型も多く一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々が安心して生活できるように取り組む。

■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「プレゼント」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。今後も更に健康情報や生活に役立つ知恵などの記事を掲載していく。また、一般の方に目にさせていただくよう公共機関などへの配布も推進する。

広報活動については、J A I F Aの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「Facebook」「QRコード」などを活用し、このほかDVDやパンフレットなどのツールを活用していく。

●2017年4月号

- ・特集 メンタルヘルス「心の病と就労」
- ・新連載 ときめき片づけ術 デスク周り
- ・第25回 ゼロから学ぶ税金講座 「累進税率の意味」
- ・第172回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「目には見えない生活の支え」
- ・新連載 社会保険Q&A 年金は減る一方？
- ・第61回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【印象アップ!】 個性の魅せ方が大切です
- ・第161回 お客様からの感謝の声 若きビジネスパートナーの突然の天国への旅立ち。生命保険のおかげでご家族も会社も守れました
- ・第73回 思わず伝えたい！お金にまつわるエトセトラ 4月から6月に気を付けること
- ・新コーナー 想いをつなぐ～ ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～鳥取砂丘一斉清掃に参加しました
- ・第80回 心のかげはし 無の境地で、真剣に取り組む！お客さまからいただいた言葉のプレゼントが支えです
- ・新企画 JAIFA VOICE～JAIFA地方協会活動レポート～想いを共有できる仲間を1人でも増やそう

●2017年5月号

- ・特集 紫外線対策をしていますか？
- ・新連載 読んでもおいしいクッキング教室 アスパラガス
- ・第26回 ゼロから学ぶ税金講座 「速算表の不思議」
- ・第173回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「わたしと生命保険」
- ・第2回 社会保険Q&A 44年で年金増額
- ・第62回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【心の距離を一気に近づける】～電話で一目惚れされる人になる～
- ・第162回 お客様からの感謝の声 43歳の夫が突然喉頭がんを発症 子どもたちの笑顔と生命保険のおかげで幸せな日常を取り戻しました
- ・第74回 思わず伝えたい！お金にまつわるエトセトラ 新しい担当先での信頼獲得
- ・第2回 想いをつなぐ～ ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～福祉巡回車輻・車いす贈呈式及びふれあいパーティーを開催しました
- ・第81回 心のかげはし 保険の仕事の真価が問われ、底力を発揮しなければならないのが『納品』。本当の意味でお届けしているのは、ご契約者の想いです
- ・第2回 JAIFA VOICE～JAIFA地方協会活動レポート～公益社団法人として、社会貢献につながるイベントを開催！

●2017年6月号

- ・特集 食中毒の種類とその予防法
- ・第2回 ときめき片づけ術 傘と玄関周り
- ・第27回 ゼロから学ぶ税金講座 「異色の『控除額』」
- ・第174回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「家族と考える保険」
- ・第3回 社会保険Q&A 加給年金と妻の年金
- ・第63回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【感じがいい人の小さな習慣】～去り際美人になる～
- ・第163回 お客様からの感謝の声 最愛の3人の子どもたちを遺して旅立った37歳の夫。「お父さんの命のお金」で立派に育ちました
- ・第75回 思わず伝えたい！お金にまつわるエトセトラ あなたはいつ「傘」を買いますか？
- ・第3回 想いをつなぐ～ ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～北九州地域

の児童養護施設の児童の皆さまとテーブルマナー教室を行いました

- ・ 第82回 心のかげはし お客様は、プロとしての情報や知識を求めています！お話を聞いていただきたいくなるためのストーリー作りに「感動」を
- ・ 第3回 JAIFA VOICE～JAIFA地方協会活動レポート～各社の垣根を越え、より多くの人に参加してもらえる協会を目指して

● 2017年7月号

- ・ レポート 2017JAIFA 年次大会 in 神戸 Passage to Harmony ～想いをつなぐ～KOBEに来てね。待っと～よ
- ・ JAIFA 第47回 定時総会報告
- ・ 第175回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「両親がかけた魔法」
- ・ 第4回 社会保険Q&A 70歳以上の高額療養費が縮小
- ・ 第64回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【感じがいい人の小さな習慣】～スペース美人になる～
- ・ 第164回 お客様からの感謝の声 自宅の階段から転倒し頸髄損傷した夫。生命保険のおかげで自宅をバリアフリーにリフォーム、穏やかな介護の日々を送っています
- ・ 第76回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ ボーナスを何に使いましたか？
- ・ 第4回 想いをつなぐ～ ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～献血のボランティア活動や児童福祉施設に寄贈品・募金を贈呈
- ・ 第83回 心のかげはし 出会う方すべてに幸せになっていただきたいという思い。人のご縁をつなげてきたことが、ご紹介や契約につながりました
- ・ 第28回 ゼロから学ぶ税金講座 「2種類の『控除』」
- ・ 第4回 JAIFA VOICE～JAIFA地方協会活動レポート～会員同士のコミュニケーションを促進し、連帯感を！

● 2017年8月号

- ・ 特集 覚えておきたい！熱中症の原因から対処法まで
- ・ 第2回 読んでもおいしいクッキング教室 とうもろこし
- ・ 第29回 ゼロから学ぶ税金講座 「まだまだある『控除』」
- ・ 第176回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「私の誕生と両親の決意」
- ・ 第5回 社会保険Q&A 手薄い自営業者の社会保障
- ・ 第65回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【感じがいい人の小さな習慣～オープンハートルール～
- ・ 第165回 お客様からの感謝の声 生保営業に転職して2年目に大動脈解離で緊急手術。復職後は仕事への取り組みが変わりました
- ・ 第77回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 帰省をきっかけに家族の未来を話し合いませんか？
- ・ 第5回 想いをつなぐ～ ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～リレー・フォー・ライフジャパン2017八戸に参加しました
- ・ 第84回 心のかげはし 所属員は第二の自分の家族ともいえる存在。一人ひとりとの関係性を築けずに、“和”を築くことはできません
- ・ 第5回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～安心して保険のことを任せられる団体を築こう
- ・ JAIFA 社会奉仕活動報告

●2017年9月号

- ・ 特集 ご存知ですか？アレルギーとアレルギー検査について
- ・ 第3回 ときめき片付け術 秋の衣替え
- ・ 第30回 ゼロから学ぶ税金講座「急増した相続税の納税者」
- ・ 第177回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「さまざまな愛の形」
- ・ 第6回 社会保険 Q&A 10年加入で受給可能になったが……
- ・ 第66回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【協力を得やすい人になるために】～愛され可愛がられる人になる～
- ・ 第166回 お客様からの感謝の声 肝臓がんで余命わずかな夫にリビングニーズ特約に基づく生前給付金で念願の車を購入。嬉しそうな笑顔が忘れられません
- ・ 第78回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 敬老の日に、改めて保険の役割を考える
- ・ 第6回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～ TRICOLOR と共同ボランティア活動「Ring Link Project」を行いました
- ・ 第85回 心のかけはし 阪神淡路大震災で被災し、ゼロからのスタート。被害に遭われた方を目の前にし、保険人生のスイッチが切り替わりました
- ・ 第6回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～香川県のお客様を守るために～ワクワクする夢をサポートできる協会を目指して～
- ・ JAIFA ハートフルファンデーション報告～ハートフルファンデーション委員会～

●2017年10月号

- ・ 第71回 「生命保険の月」に寄せて
- ・ 特集 アウトドアのすすめ 気軽に楽しめる登山・キャンプ
- ・ 第3回 読んでもおいしいクッキング教室 舞茸&椎茸
- ・ 第178回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生命と生命保険の関わり」
- ・ 第7回 社会保険 Q&A 老齢年金受給者死亡で遺族年金が支給されないケース
- ・ 第67回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ポジショニングの大切さ】～オープンハートの基本です♥～
- ・ 第167回 お客様からの感謝の声 20年以上糖尿病と闘った夫は生命保険のおかげで65歳まで生きられました。
- ・ 第7回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 保険をバージョンアップしませんか？
- ・ 第7回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～チャリティウォーク&ランフェスティバルに参加しました！
- ・ 第86回 心のかけはし リビングニーズ特約の請求を通じて、契約を単にお預かりする担当者ではなく、心に寄り添う担当者であることが大切です
- ・ 第7回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～「熊本地震と復興支援で経験し、学んだことを忘れない」をテーマに

●2017年11月号

- ・ 特集 インフルエンザ予防対策
- ・ 第4回 ときめき片づけ術 食器の片づけ方
- ・ 第31回 ゼロから学ぶ税金講座「保険料贈与プラン再考」
- ・ 第179回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「愛のドングリ」
- ・ 第8回 社会保険 Q&A 遺族年金額はどれくらい？
- ・ 第68回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【場面を変える】～名前呼びスマイルの法則～

- ・ 第168回 お客様からの感謝の声 30歳を過ぎて加入した生命保険のおかげで皮膚がんが完治。安心して療養生活を送ることができています
- ・ 第80回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 年末調整はお客様に近づくチャンス
- ・ 第8回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～児童養護施設が開催するクリスマス会に今年も参加します！
- ・ 第87回 心のかげはし 成功をめざすなら高い目標を！実現の根底には、目標をやり遂げた自分を見てみたいという思いでいます
- ・ 第8回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～縦・横の団結力と JAIFA 会員としての意識の高さを胸に

●2017年12月号

- ・ 特集 家族のメンタルヘルス
- ・ 第4回 読んでもおいしいクッキング教室 白菜
- ・ 第32回 ゼロから学ぶ税金講座 保険料贈与プラン再考 (2)
- ・ 第180回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「今後の生命保険」
- ・ 第9回 社会保険 Q&A 支給漏れの「振替加算」って何？
- ・ 第69回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【愛される理由】～相手が決める魅力の要素～
- ・ 第169回 お客様からの感謝の声 元気だった母が69歳でステージ4の膵臓がん。生命保険のおかげで痛むことなく旅立しました
- ・ 第81回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 新しい年に向けて、いま必要な下準備
- ・ 第9回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～活動報告会・研修会等で授産製品の販売支援を行いました！
- ・ お客様のためにあるべき姿を追求して 米国生命保険制度研修に参加して—この経験をお客様のために活かす
- ・ 第9回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～生命保険会社の垣根を越えた団結力と集中力、志を共有できる仲間意識が強みです！
- ・ 社会貢献顕彰ご推薦のお願い

●2018年1月号

- ・ 新春対談 Pay it Forward～ありがとうの気持ちを伝えていこう～コシノ ジュンコ氏〈ファッションデザイナー/2017年度文化功労者〉石井 清司〈JAIFA 第12代理事長〉
- ・ 第5回 読んでもおいしいクッキング教室 くわい
- ・ 第181回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「“愛”の中で生きる」
- ・ 第55回 中学生作文コンクール 入賞者表彰式
- ・ 生命保険各社社長より 新年のご挨拶
- ・ 第33回 ゼロから学ぶ税金講座「保険料贈与プラン再考 (3)」
- ・ 第10回 社会保険 Q&A 振替加算が上乗せされるのは……
- ・ 第70回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ココロが前に進む】～元気レシピのススメ～
- ・ 第170回 お客様からの感謝の声 13年前に急逝した夫。生命保険のおかげで小学生だった子どもたちも希望通りの道に進んでいます
- ・ 第88回 心のかげはし お客さまの信頼に応じて制作したエンディングドレス。輝くばかりの笑顔が今でも目に焼きついています
- ・ 第82回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 会社の利益、どう活用しますか？
- ・ 第10回 全国会長会議が開催されました

●2018年2月号

- ・ 特集 花粉症の予防と治療法
- ・ 第6回 読んでもおいしいクッキング教室 小松菜
- ・ 第34回 ゼロから学ぶ税金講座「平成30年度税制改正」
- ・ 第182回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生命保険のこと」
- ・ 第11回 社会保険 Q&A 振替加算はいくら？
- ・ 第71回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ハートが喜ぶ言葉を使う習慣】～言葉の力～
- ・ 第171回 お客様からの感謝の声 肺がんで天国に旅立った父はたった1人の家族。万全な生命保険で私の将来を守ってくれました
- ・ 第83回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 少ない時間を有効活用するためには
- ・ カード類、メガネ、タオル収集へご協力をお願い
- ・ 第89回 心のかげはし お客様に幸せになっていただきたい。そのために何ができるかという気持ちがあれば真心は通じると信じています
- ・ 2018 JAIFA 年次大会 in 函館 参加者募集開始のご案内

●2018年3月号

- ・ 特集 メンタルヘルス～社会の理解～
- ・ 第5回 ときめき片づけ術 写真の片づけ術
- ・ 第35回 ゼロから学ぶ税金講座「拡充される事業承継税制とは？」
- ・ 第183回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「感謝」
- ・ 第12回 社会保険 Q&A 再雇用後の退職で失業手当は？
- ・ 第72回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【それってホントに伝えたいこと？】～自分の心に問いかける～
- ・ 第172回 お客様からの感謝の声 妻と生命保険のおかげで明るく生きるがん患者の私。今年もあちこち仲間たちと旅する予定です
- ・ 第84回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ チャンスをつかまえるためにするべき行動
- ・ カード類、メガネ、タオル収集へご協力をお願い
- ・ 第90回 心のかげはし 生命保険はお客様ご自身だけの問題ではありません。ご家族が安心して暮らせるよう適切な保険をご提案します
- ・ 2018 JAIFA 年次大会 in 函館 参加者募集中

1. 教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1）

セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいている。

全国9ブロック54協会が、さまざまな分野から講師をお招きして127回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

1. 健康増進や先端医療のテーマ

◆開催事例

- ①梶原 和昭（ティーペック株式会社メディカルプロモーション部 シニアマネージャー）
『医療格差とセカンドオピニオン
～日本の医療格差の現実を知り、セカンドオピニオンの重要性を理解する～』
- ②佐藤 忠廣（南東北がん陽子線センター営業部長）
『がんは治る時代になりつつあります 究極のがん治療～陽子線治療～』
- ③湧井 健治（千葉脳神経外科病院院長理事）
『脳卒中治療の現状と予防法』
- ④加藤 久昌（札幌医療生活協同組合 札幌南青洲病院 緩和ケア内科 医長）
『ホスピス（緩和ケア）～いのちの現場から』
- ⑤白水 郁也（釧路孝仁会記念病院 再生医療室 部長）
『北海道で受けられる国内最先端の再生医療
～幹細胞による新しい治療で何が変わるのか～』

2. 生きがいを考えるテーマ

◆開催事例

- ①ガードナー真理（だんでいらいおんの会会長／ピンクリボンアドバイザー上級）
『家族の笑顔を守るのはあなた 他人事じゃない 乳がんの話』
- ②京谷 和幸（車いすバスケットボール日本代表アシスタントコーチ）
『絆 人生を変えた様々な出会い』
- ③大儀見 浩介（株式会社メンタリスタ 代表取締役）
『心はトレーニングすると強くなる』
- ④池田 清彦（早稲田大学教授）
『がんばらない生き方』
- ⑤池 透暢（車椅子ラグビー日本代表キャプテン）
『走り続けたから掴めた』

3. 教育・人格形成テーマ

◆開催事例

- ①小山田 香代（日本筆跡診断士協会筆跡診断士）
『筆跡診断セミナー ～筆跡が変われば運氣も変わる！！～』
- ②森 透匡（株式会社Clearwoods 代表取締役）
『ビジネスや日常生活で役立つウソ（人間心理）の見抜き方』
- ③武田 美保（スポーツ・教育コメンテーター）
『夢を追いかけて』
- ④酒井 とし夫（ビジネス心理学・ビジネスコミュニケーション心理学講師）
『心理学を取り入れて売り上げをぐんぐん伸ばす！』
- ⑤織田 友理子（NPO 法人PADM 代表）
『車椅子になって見えた世界』

4. ライフプランの設計支援テーマ

◆開催事例

- ①パッケンマッケン（お笑い芸人）
『日米生活スタイルの違いにみるお金の話いろいろ』
- ②宮田 昇（税理士・ファイナンシャルプランナー）
『わかりやすい相続実務と争族対策
～相続発生時の対処法や争族にならないための事前対策～』
- ③岡野 訓（税理士法人 さくら優和パートナーズ代表社員）
『事業承継とその税務対策セミナー』
- ④柿沼 大輔（司法書士事務所HOP 代表司法書士）
『司法書士と噺家の相続解説』
- ⑤團 弘志（株式会社LAW 務総研 代表取締役）
『オーナー企業経営者必見！企業防衛対策セミナー』

5. 経済や金融などの知識向上テーマ

◆開催事例

- ①平山 静（財務省関東財務局長野財務事務所長）
『我が国の財政の現状』
- ②玄番 芳江（玄番社会保険労務士事務所）
『日本の財政と社会保障制度』
- ③砂田 全士（ITCS研究所 主宰）
『予定利率改定をチャンスに変える！』
- ④市川 量一（知新社）
『「社会保障・年金」～対策は早いうちからコツコツと・・・
年金、医療、介護の現状と将来と対策について～』
- ⑤藤崎 達宏（NPO 法人横浜子育て勉強会理事長）
『富裕層営業の『教育』セミナー
～将棋の連勝記録で今注目の「モンテッソーリ教育」とは？』

ブロックセミナー

<北海道ブロック>

平成29年10月 6日 (金) 「京王プラザホテル札幌」
清水 宏保 『失敗から学んだ成功への道』

<関東甲信越ブロック>

平成29年10月13日 (金) 「ホテルエピナール那須」
伊藤 進 『未来のために今からできる資産運用』
井上 広法 『「縁をつなぐ」生きるヒントを特別講話』
田村 友作 『人の価値を高め共に生きる成功の技術！！』

<東海北陸ブロック>

平成29年10月 6日 (金) 「グランシップ交流ホール」
衛藤 信之 『人として一番大切な心と心の交流』
ゴルゴ松本 『出張！ゴルゴ塾 命の授業』

<四国ブロック>

平成29年10月14日 (土) 「高知市文化プラザ かるぼーと」
清原 泰治 『次世代育成について』
長田 恵理 『私が笑えばあなたも笑う』
池 透暢 『走り続けたから掴めた』

2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

社会貢献事業

■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「プレゼント」では、裏表紙に愛のドリーム号贈呈先および児童福祉施設からの感謝の声を掲載し活動報告を続けている。平成30年3月31日現在までの総累計金額は、4億9,998万0,824円である。

■ボランティア団体主催の諸行事に参加

下記団体が取り組む諸行事活動に、お手伝いをさせていただいている気持ちをもって、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

☆ガンに立ち向かう人々のために（公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ）

命のリレー・ウォークでは、がんに立ち向かう日々の思いや体験を語り合い、24時間歩きながら寄付を募るイベントです。患者さん（サバイバー）たちと共に歩くことで、がんに向う勇気や生きる感動を共有します。

☆知的発達障害のある人々のために（公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本（SO））

知的障害のある人たちに年間を通じて、さまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供している。スポーツを通じ社会参加を応援するために全国各地で開催される競技会等での支援をしています。

■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した津波や大地震などの突発的自然災害により被害を受けられた方々に対して、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

3. 調査・提言事業（その他の事業）

諸団体との連携・交流等事業

- ・平成29年 4月20日(木)、21日(金) 第47回MDRT日本会大会に木原理事長が出席した。
- ・平成29年 4月27日(水) アンダーライティング学院運営委員会に木原理事長が出席した。
- ・平成29年 6月23日(金) 第46回TLC(生保協会認定FP)会総会に石井理事長が出席した。
- ・平成29年 8月 1日(火) アンダーライティング学院43期生学位授与式に山本理事が出席した。
- ・平成29年10月11日(水) 生命保険修士会第43回定時総会に石井理事長が出席した。
- ・平成29年10月18日(水) アンダーライティング学院会計監査に田久保理事が出席した。
- ・平成29年11月 2日(金) 第7回日本損害保険代理業協会コンベンションに山本理事が出席した。
- ・平成30年 1月 4日(木) 一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に石井理事長が出席した。
- ・平成30年 2月27日(火) アンダーライティング学院運営委員会に田久保理事が出席した。

国際連携事業

■NAIFA年次大会

本年度も恒例となる米国NAIFA年次大会が、2017年9月8日(土)～10日(月)にフロリダ州オーランド・スワンホテルを会場にして開催される予定であったが、急遽、巨大ハリケーン「ハービー」「イルマ」の来襲による影響から大会は直前に中止された。

講演、分科会、ロビー活動の報告、役員選挙などを行う会員4万人を有するNAIFAの年次大会は中止を受けて、大会で報告される予定内容が次々とホームページで公表された。

NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客さまや一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。今回、JAIFA参加者は、大会出発日に中止を知らされたため、参加予定者へ確認をしたうえで渡米することとし、米国生命保険制

度の勉強プログラムを取り入れてこれに替えた。

全米大手生命保険会社の一つニューヨークライフ社（New York LIFE）ダラス支社への訪問では、同社が2008年のアメリカ金融危機の際、多くの生命保険会社が投資信託へとシフトを変えた中、「生命保険相互会社」の方針を貫き、また、金融の中心はアメリカであるとの信念から海外展開を抑え、現在ではアメリカの中で確固たる地位を保ち続けていること。同社での業績の全米ナンバーワン支社は、東海岸側のニューヨークでも、西海岸側のロサンゼルスでもなく、2016年度は今回訪問できたダラス支社がチャンピオンに輝いた。この達成には、単純な売り上げのみではなく、コンプライアンスやリクルート等、総合的に評価されるうえで同支社は達成された。私達自身の振り返りや、クライアントの将来設計、そして自社のリクルートにも通ずる話であった。

米国は、生命保険に関係する様々な法案が毎年2,000件近く提出される中で、連邦法や州法などのもとに対応が迫られている。昨年、米国大統領選により民主党から共和党政権へ変り、これによっても様々な変更が生じ、NAIFAは業界が必要とする税制・法律面等において、お客様にとって不利となる法案等に対しても、政府や官庁、また議員に力強く訴え続けているのでした。

このように、私達が、米国の生命保険制度を学ぶ意味は、近い将来日本でも何かしらの変革がもたらされるのであろうこの生命保険業界の最先端情報を知る事で、今後、どの様に自分やお客様との関係を築いて行くべきかという規準を計る良い学びの機会となっています。

政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

平成30年度税制改正に関する要望項目について

平成29年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、11月8日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

《重点要望項目》

◎少子高齢化の急速な進展やライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立と国民生活の安定に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度については、社会保障制度の見直しに依じて、現行制度を拡充することー所得税法上および地方税法上の生命・介護医療・個人年金の各保険料控除の最高限度額を少なくとも5万円および3.5万円とすること、また、所得税法上の保険料控除の合計適用限度額を少なくとも15万円とすること（所得税法第76条、地方税法第34条・同法第314条の2）

《その他の要望項目》

I. 企業年金保険関係

- 公的年金制度を補完する企業年金制度（確定給付企業年金制度、厚生年金基金制度）および確定拠出年金制度等の積立金に係る特別法人税を撤廃すること
- 確定給付企業年金、厚生年金基金における過去勤務債務等に対する事業主掛金等について、早期の年金財政の健全化に資する柔軟な取扱いを可能とすること

○企業型確定拠出年金制度における退職時の脱退一時金について支給要件を緩和すること

II. 生命保険契約関係

○遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円＋未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

- ・平成29年 4月19日（水）衆議院議員長尾たかし君と日本の未来を創る会に木原理事長と町田事務局長が出席した。
- ・平成29年 4月20日（木）番町政策研究所「2017 躍進の集い」に町田事務局長が出席した。
- ・平成29年 4月24日（月）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に職員が出席した。
- ・平成29年 8月28日（月）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に町田事務局長が出席した。
- ・平成29年10月 5日（木）衆議院議員高村正彦朝食勉強会に職員が出席した。
- ・平成29年10月 6日（金）自民党政権公約に関する政策懇談会に山本理事と職員が出席した。
- ・平成29年12月14日（木）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に石井理事長と町田事務局長が出席した。
- ・平成30年 2月 8日（木）衆議院議員高村正彦朝食勉強会に町田事務局長が出席した。
- ・平成30年 2月28日（水）自民党各種団体協議会懇談会に石井理事長が出席した。
- ・平成30年 3月25日（日）自由民主党第85回定期党大会に町田事務局長と職員が出席した。

○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

平成30年1月30日（火）如水会館において、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会が開催された。

4. 管理部門

組織の現状

平成29年度末の会員数は38,476名となった。前年平成28年度末会員数36,449名と比較すると2,027名の増加となった。また、54地方協会のうち増加地方協会は44協会であった。地方協会別会員数は、別表（52～53ページ添付）資料の通りである。

会員増加44協会

札幌・函館・苫小牧・旭川・釧路・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・山梨県・埼玉県・千葉県・東京・神奈川県・富山県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・大阪・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・福岡・北九州・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・沖縄県

諸会議の開催

① 理事会

- 第1回 平成29年4月18日(火) 午後2時30分～5時 メットライフ生命6F中会議室
議 題 I. 決議事項 第1号議案 平成28年度事業報告承認の件 第2号議案 平成28年度決算承認の件 第3号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項: 第1号議案 平成28年度決算承認の件 第2号議案 理事選任の件 第3号議案 監事選任の件 報告事項: 1. 平成28年度事業報告の件 2. 平成29年度事業計画報告の件 3. 平成29年度予算報告の件 第4号議案 支部(地方協会)運営規程細則改正の件 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・専務理事 2. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金 3. 年次統一セミナーの開催について 4. その他
- 第2回 平成29年6月1日(木) 午後4時～4時30分 神戸国際展示場2号館2階2B会議室
議 題 I. 決議事項 1号議案 理事長(代表理事)、専務理事(業務執行理事)選定の件 第2号議案 委員選任の件 第3号議案 名誉会長・相談役の選任の件 第4号議案 ハートフルファンデーション委員会構成の件 第5号議案 次回理事会開催日程の件
- 第3回 平成29年7月7日(金) 午後3時～5時 TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター4F
議 題 I. 決議事項 1. 平成29年度事業推進について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーションについて 2. 理事会の開催予定について II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 年次統一セミナー報告 4. その他
- 第4回 平成29年9月1日(金) 午後1時～3時 メットライフ生命6F中会議室
議 題 I. 決議事項 1. 平成29年度事業推進について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーションについて 2. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他
- 第5回 平成29年10月27日(金) 午後1時～3時 メットライフ生命6F中会議室
議 題 I. 決議事項 1. 平成29年度事業推進について 2. 平成30年事業計画骨子について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 3. 規程 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 2. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 3. 内部監査について 4. その他
- 第6回 平成30年1月30日(火) 午後1時～午後3時30分 如水会館2F松風の間
議 題 I. 決議事項 1. 平成29年度事業推進について 2. 平成30年事業計画案について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 3. 平成30年度予算案について 4. 支部(地方協会)運営規程細則について II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

②委員会

教育委員会

第1回【教育委員会・編集会議】平成29年 8月31日(木)午後2時～午後3時 JAIFA本部会議室

議 事 1. 平成29年度事業進捗について 2. 平成30年度事業計画案(骨子)について 3. 平成29年度広報誌「Present」の制作について 4. その他

編集会議 午後3時～午後5時

議 事 1. 平成29年度『Present』の誌面内容について 2. 平成30年度広報誌『Present』の編集方針について 3. その他

第2回【教育事業説明会・教育委員会・編集会議】平成29年11月22日(水)午後1時～午後2時30分 JAIFA本部会議室

議 事 1. JAIFAの組織について 2. 教育事業の検討について 3. 質疑 4. その他

編集会議 午後2時30分～午後4時30分

議 題 平成29年度事業進捗について 2. 平成30年度事業計画(案)について 3. 平成30年度広報誌『Present』制作について 4. その他

企画広報委員会 企画部会

第1回 平成29年 7月21日(金)午後11時30分～午後1時30分 函館市労働者総合福祉センター(サン・リフレ函館)

議 事 1. 平成29年度事業進捗について 2. 2017JAIFA年次大会in神戸について 4. 2018年JAIFA年次大会(函館開催)について 5. その他

第2回 平成29年11月21日(火)午後1時～午後7時 JAIFA本部会議室

議 事 1. 2018JAIFA年次大会実行委員会及び決起大会について 2. その他

第3回 平成29年10月19日(金)午後1時～午後6時 函館市総合福祉センター

議 事 1. 2018JAIFA年次大会について 2. その他

第4回 平成30年 1月26日(金)午後1時～午後2時 ホテルリソル函館 リビングロビー

議 事 1. 2018JAIFA年次大会実行委員会及び決起大会について 2. その他

第5回 平成30年 3月 9日(金)午後1時～午後6時 JAIFA本部会議室

議 事 1. 2018JAIFA年次大会について 2. その他

【2018JAIFA年次大会実行委員会】

第1回 平成29年 7月21日(金)午後2時～午後6時 函館市労働者総合福祉センター(サン・リフレ函館)

議 事 1. 2017JAIFA年次大会報告 2. 2018JAIFA年次大会について 3. その他

第2回 平成29年10月20日(金)午後2時～午後6時 日本生命函館支社会議室

議 事 1. 2018JAIFA年次大会について 2. その他

第3回 平成30年 1月26日(金)午後2時～午後6時 日本生命函館支社会議室

議 事 1. 2018JAIFA年次大会について 2. その他

企画広報委員会 広報部会

- 第1回 平成29年 9月26日(火) 午後2時～午後4時30分 JAIFA本部会議室
議 事 1. 平成29年度事業推進状況について 2. 平成30年度事業計画案について
3. その他

社会奉仕委員会

- 第1回 平成29年10月13日(金) 午後3時～午後5時 JAIFA本部会議室
議 事 1. 平成29年度事業進捗状況について 2. 社会貢献顕彰の選定について
3. 平成30年度事業計画骨子について 4. その他
- 第2回 平成30年 3月20日(火) 午後3時～午後5時 JAIFA本部会議室
議 事 1. 平成29年度事業進捗状況について 2. 社会貢献顕彰の選定について
3. その他

組織強化委員会 組織部会

- 第1回 平成29年 10月 3日(火) 午後2時～午後5時 JAIFA本部会議室
議 事 1. 平成29年度事業推進と進捗状況について・会員増強について 2. 平成30
年度事業計画骨子について 3. その他

② 全国会長会議

- 第1回 平成29年10月27日(金) 午後3時30分～午後6時
全国会長会議、JAIFAフォーラム 19時～21時20分 ナイトミーティング
議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と平成30年度事業計画骨子
教育委員会、企画広報委員会 企画部会・広報部会、社会奉仕委員会、組織強化委
員会 組織部会・財務部会・金融業界調査部会・総務部会 ②JAIFAの組織の
現況等について
- 平成29年10月28日(土) 午前9時～午前12時 全国会長会議、ブロック会議 メッ
トライフ生命 6階 大会議室
1. JAIFAフォーラム報告 8グループからの代表 2. ブロック会議、北海
道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、首都圏ブロック、東海北陸ブロ
ック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック 3. ブロック
会議報告

④ ブロック長会議

- 第1回 平成29年10月27日(金) 午後1時～午後3時 JAIFA本部 会議室
議 題 1. 会員増強「ありがとうの気持ちを伝えていこう 40,000人キャンペーン」
について 2. 2018年函館年次大会動員について 3. その他
- 第2回 平成30年 1月30日(火) 午後1時～午後3時30分 如水会館 2階
議 題 1. 組織強化について 全国会長会議を受けて ①「ありがとうの気持ちを伝えて
いこう 40,000人キャンペーン」の進捗について ②2018 JAIFA年
次統一セミナー(函館市)の動員について 2. ブロック事業活動について 3. そ
の他

⑤ブロック会議

<北海道ブロック>

平成29年10月 6日 (金) 京王プラザホテル札幌 (会計長会議を含む)

平成29年10月28日 (土) メットライフ生命6階会議室

<東北ブロック>

平成29年 9月23日 (土) アエル21階 TKPカンファレンス会議室 (会計長会議を含む)

平成29年10月28日 (土) メットライフ生命6階会議室

<関東甲信越ブロック>

平成29年 8月 1日 (金) 明治安田生命水戸支社会議室 (会計長会議を含む)

平成29年10月28日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成29年12月15日 (金) 黒部観光ホテル

<首都圏ブロック>

平成29年 6月22日 (木) 東京協会会議室

平成29年 7月18日 (火) 東京協会会議室

平成29年 9月20日 (水) 東京協会会議室

平成29年10月28日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成29年11月10日 (土) 東京協会会議室

平成29年12月19日 (火) 東京協会会議室

平成30年 2月13日 (月) 東京協会会議室

平成30年 3月19日 (月) 東京協会会議室

<東海北陸ブロック>

平成29年10月 5日 (木) メットライフ生命静岡6階会議室 (会計長会議を含む)

平成29年10月28日 (土) メットライフ生命6階会議室

<近畿ブロック>

平成29年10月28日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成29年12月13日 (水) 大阪協会事務局 (会計長会議を含む)

平成30年 3月12日 (月) ソニー生命大阪支社会議室

<中国ブロック>

平成29年10月28日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成29年11月16日 (木) 明治安田生命広島支社3階会議室 (会計長会議を含む)

平成30年 2月15日 (木) 第一生命広島総合支社11階会議室

<四国ブロック>

平成29年10月16日 (月) ホテルリブマックス伊予三島 (会計長会議)

平成29年10月28日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成30年 3月22日 (木) ホテルリブマックス伊予三島

<九州ブロック>

平成29年10月13日 (金) アクロス福岡 (会計長会議)

平成29年10月28日 (土) メットライフ生命6階会議室

※平成29年10月28日 (土) のブロック会議は、全国会長会議と同時に、全ブロックが一堂に会して一斉に開催された。

■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

平成29年度は、「規程遵守」「雇用実態」の各項目での内部監査を実施した。

- 内部監査
- 1 地方協会の規程順守調査
 - 2 地方協会の雇用実態調査
 - 3 地方協会の内部監査

■職員の状況

本部事務局の業務にあたる平成29年度末の専従職員数は、事務局長以下7名である。

■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟（いずれも社団法人のみ）、第三者訴訟（社団法人、財団法人共通）により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。